

発電所内のモニタリング状況等について (1～3号機放水路の状況について)

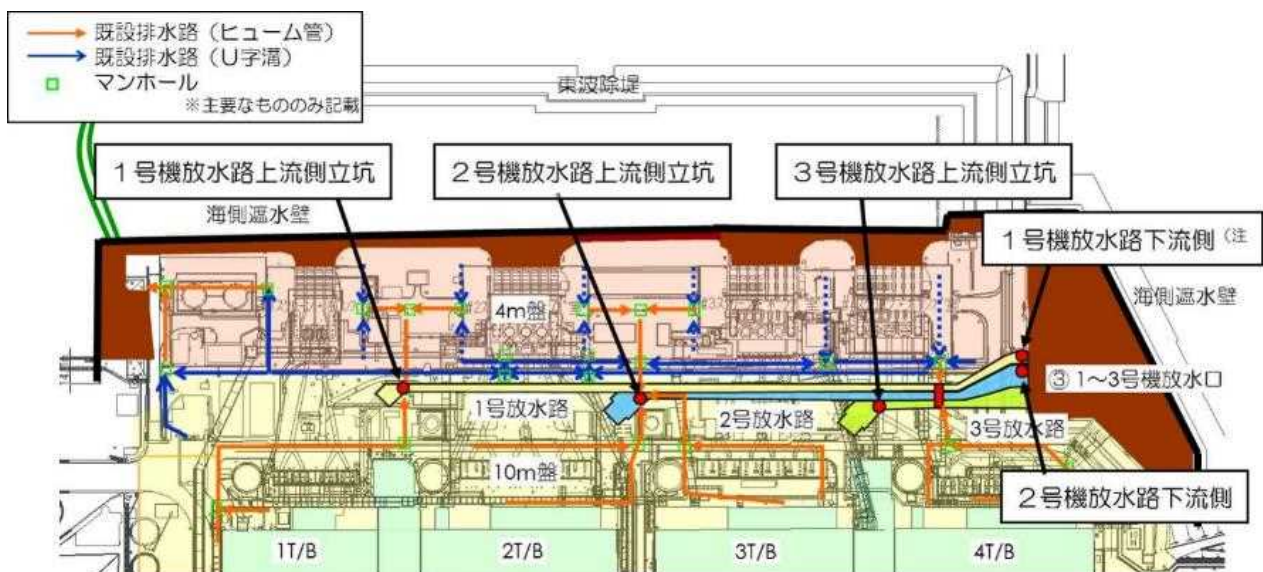
2017年3月30日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

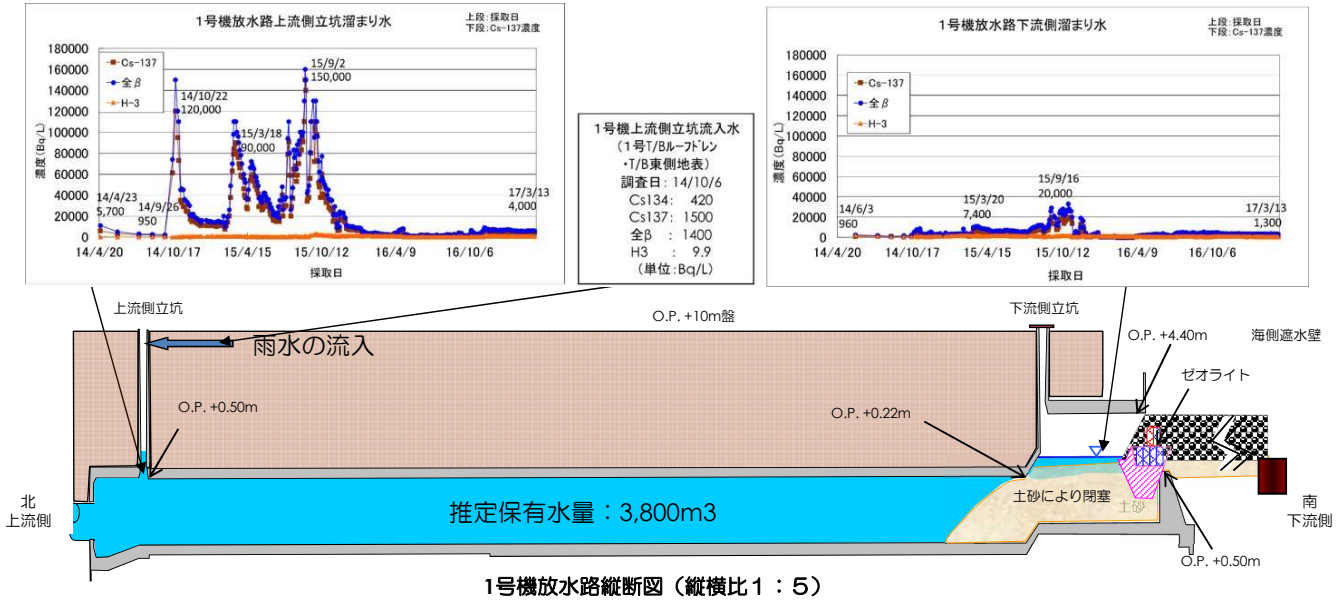
1～3号機放水路及びサンプリング位置図（平面図）



注:ゼオライト土のう設置(2月)以降、放水口から下流側立坑へのアクセス不可のため、放水口上部より採水

1号機放水路サンプリング結果

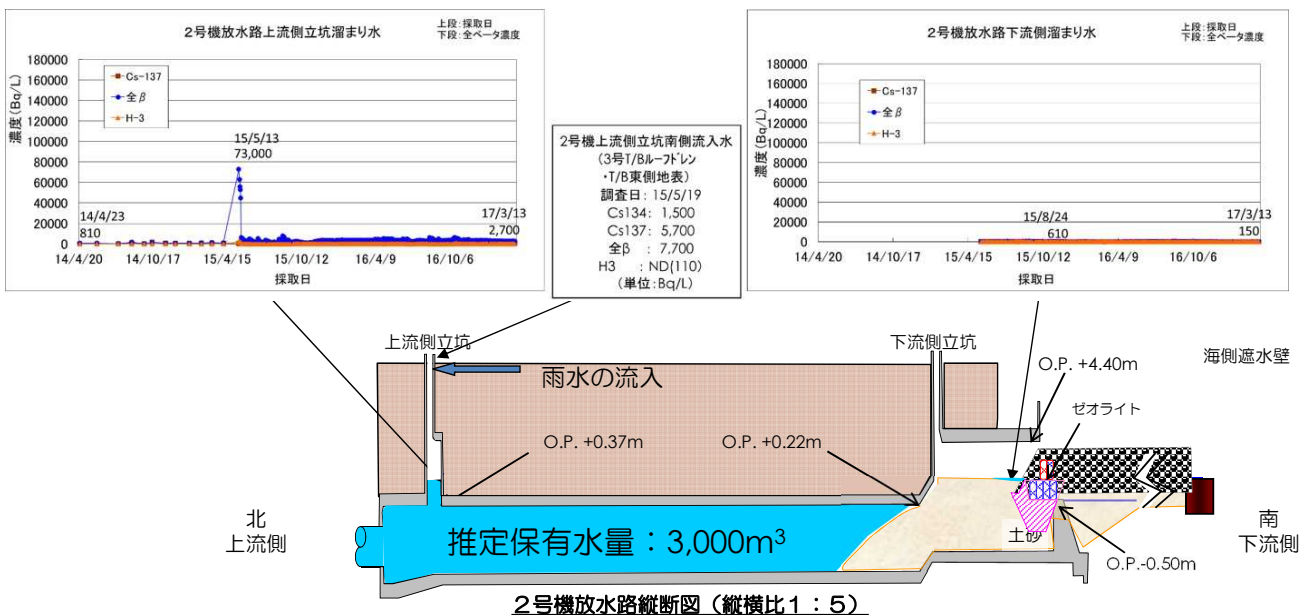
- 上流側立坑たまり水のセシウム137濃度は、昨年5月以降1,000~2000Bq/L前後で横這い状態であったが、11月に7000Bq/L前後に上昇。その後低下し、現在は4000Bq/L前後で横這い状態。
- 下流側の溜まり水のセシウム137濃度には、上昇傾向は見られていない。当面監視を継続。
- 放水路浄化装置は停止中。



注: 放水口へのゼオライト設置により、放水口内への立ち入りができなくなったことから、2015/3/20より放水口上部開口部から採水することとした。

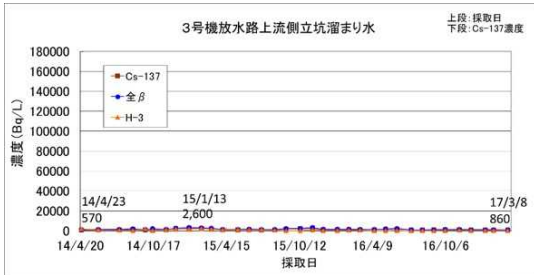
2号機放水路サンプリング結果

- 2号機放水路上流側立坑の溜まり水の全ベータ濃度は、横這い状態で推移。降雨時に一時的にセシウム濃度の上昇に伴って上昇するものの、2015年5月のような急上昇はみられておらず、3,000~4,000Bq/L程度で推移。
- 下流側（放水口）の濃度も低濃度で、上昇は見られない。



3号機放水路サンプリング結果

- 3号機放水路上流側立坑溜まり水のセシウム濃度は、降雨により若干の上下はあるものの、1,000~2,000Bq/L程度で推移。
- 引き続きモニタリングを継続する。



3号機上流側立坑流入水 (3号S/B炉-70 L・T/B東側地表)	
調査日	14/6/12
Cs134	1,400
Cs137	4,100
全β	4,800
H3	ND(9.4)
(単位: Bq/L)	

3号機下流側立坑流入水 (4号T/B建屋周辺雨水)	
調査日	14/6/12
Cs134	1,000
Cs137	2,800
全β	3,900
H3	13
(単位: Bq/L)	

